

平成 19 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 精 工 技 研
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 野 昌 利
 (コード番号 6834)
 問 合 せ 先 経 営 企 画 室 齋 藤 祐 司
 (TEL . 047 - 388 - 6401)

平成 20 年 3 月期中間 (連結・単独) 業績予想及び
 通期 (連結・単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 24 日付当社「平成 19 年 3 月期決算短信」にて発表いたしました平成 20 年 3 月期中間期及び通期の業績予想 (連結・個別) を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日) (単位 : 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,750	150	130	130
今回発表予想 (B)	3,687	126	84	132
増減額 (B - A)	63	24	46	2
増減率 (%)	1.7%			
(ご参考) 前期実績	3,382	5	66	308

(2) 通期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,400	140	190	110
今回発表予想 (B)	7,980	140	70	130
増減額 (B - A)	420	280	260	240
増減率 (%)	5.0%			
(ご参考) 前期実績	7,156	74	73	208

(3) 修正理由

上半期におきましては、売上高及び営業損益は概ね見込みどおりに推移しました。また、受取利息や特許権使用料等の営業外収益が見込みを上回り、経常損益は期初の見込み値から 46 百万円改善し、84 百万円の経常損失となる見通しです。当期純損益は、連結税効果を計上しないこととなったため、ほぼ期初に見込んだとおり 132 百万円の当期純損失となる見通しとなりました。

一方下半期は、F T T Hを中心とする国内の光通信関連市場の成長に若干陰りが見られ、光製品部門の売上高の伸びは、期初の見込みからやや鈍化することが予想されます。この結果、通期の連結売上高は期初の見込み値から 420 百万円減少し、7,980 百万円となる見通しであります。また、新商品の開発や新事業の創出をなおいっそう加速させるため、下半期には研究開発費の増額を予定しています。このため損益面においては、営業損失 140 百万円、経常損失 70 百万円、当期純損失 130 百万円となる見通しとなり、期初の見込み値からそれぞれ減少する見通しとなりました。

2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	3,320	150	135	135
今回発表予想（B）	3,179	149	113	104
増減額（B - A）	141	1	22	31
増減率（%）	4.2%			
（ご参考）前期実績	3,206	3	57	301

(2) 通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	7,370	90	120	70
今回発表予想（B）	6,830	230	180	190
増減額（B - A）	540	320	300	260
増減率（%）	7.3%			
（ご参考）前期実績	6,202	121	8	211

(3) 修正理由

個別業績予想の主な修正理由は、連結業績予想の修正理由と同様です。

なお、当期の期末配当につきましては当初の予定を据え置き、1 株につき金 30 円とさせていただきます。

以上